

一緒に行くよ

—事なかれ主義・出世主義・拝金主義—



東郷 潤

子供に、お母さんが教えています。



ねえお母さん。絵本はもういいから、ボクシングのやり方を教えてよ。僕、大きくなったら、ボクサーになりたいんだ





子供は怖くなって、夢を心の奥底に押し込みました。



それから何年か経ち、子供は学生になりました。彼に将来の夢はありません。勉強は嫌いです。

・・・とうとう先生に叱られました。



こら、少しは勉強しろ。
ホームレスになったら、
どうするんだ!?

この世は生存競争なんだぞ。
ボーっとしてたら、負けちゃうぞ

ホームレス？ 負ける？ ・・・彼は怯えて、
その後、 いっぱい勉強をするようになりました。

お陰で、有名大学に合格することが出来ました。



彼は大学でも、大嫌いな勉強を一生懸命がんばりました。



お陰で大学卒業時の成績はトップクラス。

これでどんな就職先でも選べます。

彼が選んだのは、生き残れる確率が最も高い、
つまりは収入が高く安定した仕事です。さあ、
エリートとしての人生が始まりました。



さて彼には仕事自体への興味も夢もありません。でも、出世には熱心で、お金儲けも好きでした。

お金があれば贅沢が出来ますし、高い医療費も払えます。高級スポーツジムにだって入れます。つまり、生き残るチャンスが増えるのです。



そこでチャンスを見つけては、利権を育て、ワイロも積極的に受け取りました。

そしてもし万一、ばれそうになったら他人のせいにし、友達も裏切って切り抜けました。だって子供の頃から夢を捨て、嫌いな勉強をし、つまらない仕事を我慢しているのです。こんなところで負けられません。



不正の証拠を、あいつの机の中に入れておこう。

友人を裏切った嫌な気持ちは、心の底に押し込みました。



あ、大変です！ 突然、大事故が発生しました！



山も畑も町も海も、広大な場所が汚染されてしまいました。



本当は、彼には人々を救うために出来ることがたくさん有ったのです。でも、へたに関わって責任を取らされたら大変です。

他人のためになんか、絶対にリスクは取れません。自分さえ幸せならそれで良いのです。この世は生存競争なのですから。

人々への同情や申し訳ないという気持ちは、心の底に抑え込みました。

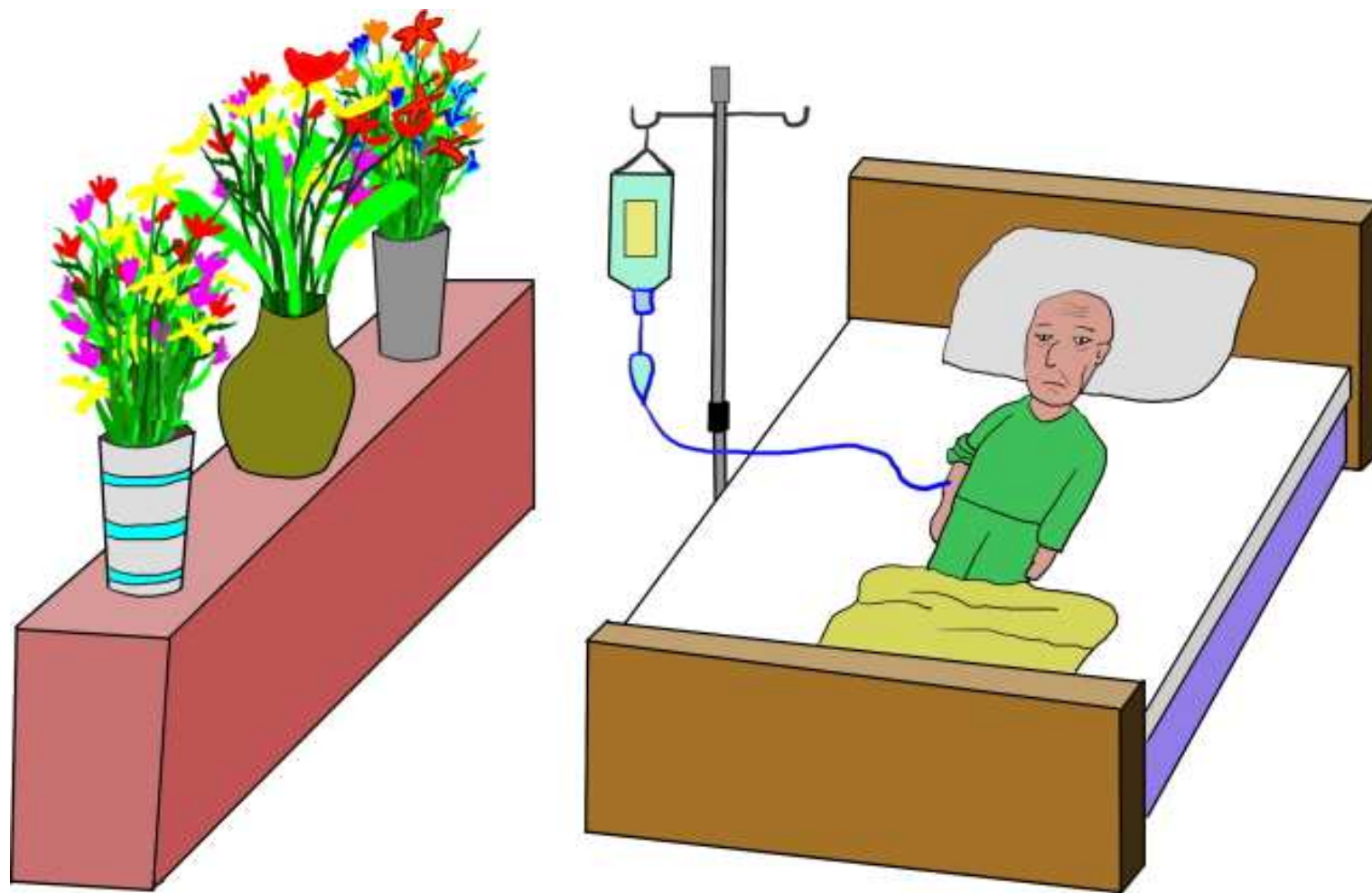


こうして夢を捨て、競争に勝ち、お金を儲け、友人を裏切り、他人を見捨て、リスクを取らなかった結果、地位も権力もお金も手に入れることが出来ました。

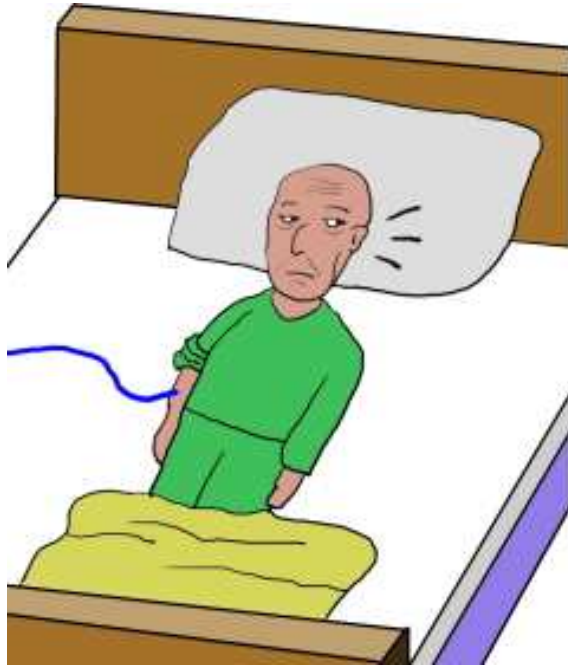


そして彼は、年老いて行きました。

彼はもう老人です。ある日、病気になって入院してしまいました。入院先は、むろん一流病院の特等室です。



あれ？ 病室の外で、誰かが話をしているようです。



ねえ、お父さんの遺書はあるの？

株券は誰が相続するの

まさか隠し子なんかいないよな

な、なんと彼の子供たちが、彼の遺産の分配を巡って話し合っているのです。



ふざけるな、俺のお金、俺の財産を！

・・・でも、ふと気づきました。体が思いのほか弱っていることを。

もしかすると、俺は死ぬのか？

大変だ！

俺のお金や財産。

あの世にまで持っていけない

じゃないか！ 地位も権力も

持っていけない。



・・・でもそれじゃ俺はあの世に
何を持って行けるんだ？

これほどがんばって成功したのに、あの世まで
持って行けるものは、何ひとつ無いじゃないか！？

・・・いや、待てよ。



昔、心の底に押し込んだ夢とか・・・



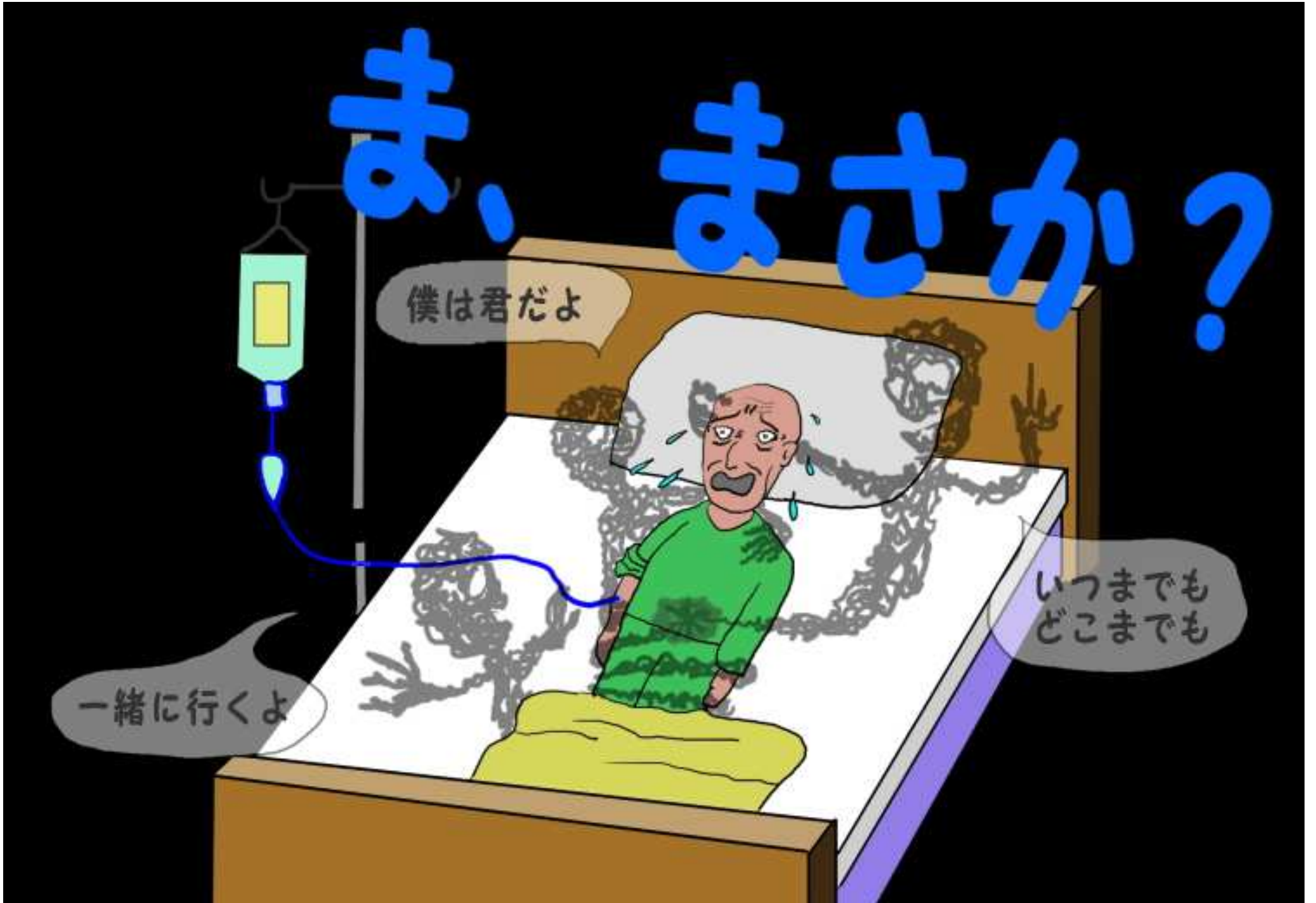
裏切った友情や、見捨てた人々への同情、
申し訳ないという気持ちとか・・・

ま、まさか？

僕は君だよ

一緒に行くよ

いつまでも
どこまでも



あとがき ー絵本「一緒に行くよ」

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2012